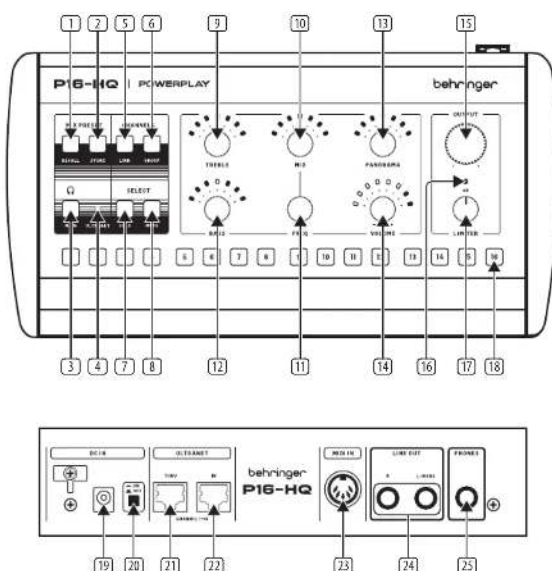


POWERPLAY P16-HQ コントロール

ステップ 2: コントロール



- RECALL:** このボタンを押し続け、16の CHANNEL SELECT ボタン (18) のいずれかを押し、対応するユーザーミックスプリセットをロードします。
- STORE:** このボタンを押し続け、16の CHANNEL SELECT ボタン (18) のいずれかを押し、現在の設定に対応するユーザーミックスプリセットスロットに保存します。
- MAIN** ボタンはメインステレオミックスを選択し、ボリューム、バランス、イコライゼーションの個別設定が含まれます。
- ULTRANET LED** は、ULTRANET 入力が接続されてアクティブであることを示します。
- LINK:** このボタンを押し続け、16の CHANNEL SELECT ボタン (18) のいずれかを押し、隣接するモノチャンネルをリンクされたステレオペアに結合します。
- GROUP:** このボタンを押し続け、16の CHANNEL SELECT ボタン (18) のいずれかを押し、選択したチャンネルを 1 つ以上のグループに結合します。
- SOLO** ボタンは、選択されたモノチャンネルまたはステレオリンクされたペア以外のすべてのチャンネルをミュートします。
- MUTE:** このボタンを押し続け、16の CHANNEL SELECT ボタン (18) のいずれかを押し、そのチャンネルをミュートまたはミュート解除します。
- TREBLE** ノブは、選択したモノチャンネル、ステレオリンクされたペア、または MAIN ステレオバス信号の高域帯域ゲインを制御します。エンコーダーを押して値をリセットします。
- MID** ノブは、選択したモノチャンネル、ステレオリンクされたペア、または MAIN ステレオバス信号の中域帯域ゲインを制御します。エンコーダーを押して値をリセットします。
- FREQ** ノブは、MID ノブを使用してカットまたはブーストする特定の中域周波数帯域を選択します。エンコーダーを押して値をリセットします。
- BASS** ノブは、選択したモノチャンネル、ステレオリンクされたペア、または MAIN ステレオバス信号の低域帯域ゲインを制御します。エンコーダーを押して値をリセットします。
- PANORAMA** ノブは、モノチャンネルのステレオ配置とステレオリンクされたチャンネルまたは MAIN ステレオバス信号の左右バランスを調整します。エンコーダーを押して値をリセットします。
- VOLUME** ノブは、選択したモノおよびステレオリンクされたチャンネルまたは MAIN ステレオバス信号のミックスレベルを調整します。エンコーダーを押してミュートします。
- OUTPUT** ノブは、全体のマスター出力レベルを制御します。
- GR LED** は、出力リミッターがアクティブであることを示します。
- LIMITER** ノブは、マスター出力のリミッターレスショルドを制御します。
- CHANNEL SELECT** ボタンは、個別のミックス調整のために、必要なモノおよびステレオリンクされたチャンネルおよびグループに番号を当てます。
- DC IN** は、付属の外部電源に接続します。BEHRINGER の外部電源のみを使用してください。
- ON/OFF** スイッチ。
- ULTRANET THRU** は、処理されていない ULTRANET IN のコピーを追加の ULTRANET デバイスに送信します。
- ULTRANET IN** は、シールドされた CAT5 デジタルオーディオケーブルを介して、ULTRANET デバイスから 16 チャンネルを受信します。
- MIDI IN** は、外部 MIDI コントローラーを使用してすべてのパラメーターを制御するためのものであり、ファームウェアの更新にも使用されます。
- LINE OUT** は、2 本の TRS ケーブルを介して MAIN ステレオミックスのコピーを送信します。代わりに、単一の TRS ケーブルを L/MONO ジャックに接続できます。
- PHONES** 出力は、6.35mm (1/4") TRS コネクタを介して MAIN ステレオミックスのコピーを送信します。

POWERPLAY P16-HQ はじめに

ステップ 3: はじめに

P16-HQ の基本セットアップ

1. OUTPUT ノブを完全に反時計回りに回して、最小位置に設定します。

2. LIMITER ノブを完全に時計回りに回して、最大位置に設定します。

3. ULTRANET LED が点灯していることを確認します。

4. 各チャンネルのパラメーターは、対応する CHANNEL SELECT ボタンを押すことで調整できます。

各 CHANNEL SELECT ボタンの LED は、次のように点灯します。

- ・ 緑 (点滅): オーディオ信号アクティビティ
- ・ 赤 (点灯): オーディオ信号アクティビティがない状態でモノチャンネルまたはステレオリンクペアが選択されています
- ・ 黄色 (点滅): オーディオ信号アクティビティがある状態でモノチャンネルまたはステレオリンクペアが選択されています
- ・ 赤 (点滅): チャンネルは選択されたグループの一部ですが、現在そのチャンネルは選択されておらず、オーディオ信号アクティビティはありません
- ・ 黄色 (点滅): チャンネルは選択されたグループの一部ですが、現在そのチャンネルは選択されておらず、オーディオ信号アクティビティがあります

5. オーディオを再生しながら、OUTPUT ノブをゆっくりと時計回りに回して、快適なモニターレベルを調整します。

6. LIMITER ノブをゆっくりと反時計回りに回して、リミッターを有効にし、ダイナミクスと音圧ピークのパラメータを調整します。

7. ミックス内の任意のモノまたはステレオチャンネルを調整するには、対応する CHANNEL SELECT ボタンを押します。チャンネルの LED が赤く点灯し、チャンネルが調整のために選択されていることを示します。

8. VOLUME ノブを時計回りまたは反時計回りに回して、ミックス内のチャンネルの相対レベルを調整します。

9. PANORAMA ノブを時計回りまたは反時計回りに回して、ステレオフィールド内のチャンネルの位置を調整します。

10. BASS および TREBLE ノブを使用して、チャンネルの低域および高域のゲインを調整します。

11. FREQ ノブを使用して調整するミッドバンドの中心周波数を選択し、MID ノブを使用してミッドバンドゲインを調整します。

12. LINK ボタンを押し続けて、目的の CHANNEL SELECT ボタンを押してステレオリンクを作成します。隣接する関連チャンネルがステレオリンクされます。チャンネルは常に奇数チャンネルからステレオリンクされ、奇数チャンネルは左に割り当てられ、偶数チャンネルに適用さ

れたすべてのパラメーター値が両方のステレオリンクチャンネルに適用されます。

13. 複数のチャンネルをグループ化するには、GROUP ボタンを押し続けてから、グループに割り当てたいチャンネルの CHANNEL SELECT ボタンを押します。選択したチャンネルの LED が点滅します。同じ CHANNEL SELECT ボタンをもう一度押してチャンネルを選択解除します。CHANNEL SELECT ボタンを離して、選択したチャンネルでグループを作成します。

グループを作成した後、GROUP ボタンを押し続け、グループに割り当てられた CHANNEL SELECT ボタンのいずれかを押すことで、グループを変更できます。これで、そのグループにチャンネルを追加または削除できます。

未割り当てのチャンネルから新しいグループを作成するには、GROUP ボタンを押し続けてから、現在グループに割り当てられていないチャンネルの CHANNEL SELECT ボタンを押します (LED はオフです)。割り当てられていない CHANNEL SELECT ボタンを押すと、新しいグループが出来ます。必要に応じて、さらにチャンネルを追加します。

1つのチャンネルは一度に1つのグループの一部にしかなりません。

グループ内のチャンネルの VOLUME を調整すると、他のすべてのグループ化されたチャンネルの VOLUME も同じ量だけ

変更されます。他のすべてのチャンネル設定 (EQ や PANORAMA など) は独立して保持されます。

14. 1つまたは複数のチャンネルをミュートするには、MUTE ボタンを押し続けてから、目的のチャンネルの CHANNEL SELECT ボタンを押します。

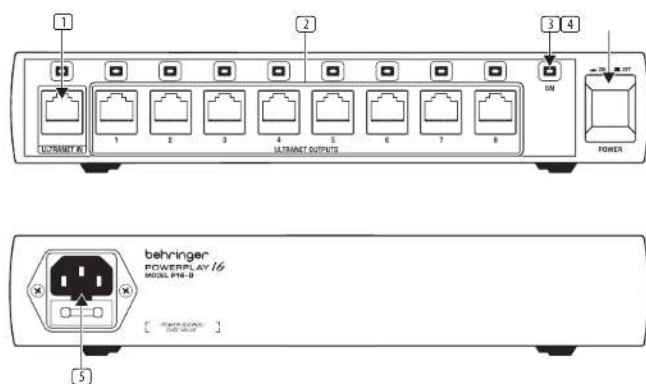
15. 選択したチャンネルを SOLO にするには、SOLO ボタンを押します。別の CHANNEL SELECT ボタンを押すと、新しく選択されたチャンネルが SOLO になります。SOLO モードを終了するには、再度 SOLO ボタンを押します。

16. STORE ボタンを押し続け、16 の CHANNEL SELECT ボタンのいずれかを押して、ターゲットプリセット ロットを選択することで、設定をプリセットに保存します。

17. RECALL ボタンを押し続け、目的のプリセットが含まれている CHANNEL SELECT ボタンを押してプリセットをロードします。

POWERPLAY P16-D コントロール

ステップ2: コントロール



1. **ULTRANET IN** 入力、シールドされた CAT5 ケーブルを使用して他の POWERPLAY 16 デバイスからの信号を受け入れます。
2. **ULTRANET OUTPUTS** は、P16-D を最大 8 台の P16-HQ パーソナルミキサーや P16-D ディストリビューションハブに接続します。各出力はシールドされた CAT5 ケーブルを使用して 16 トラックの信号を送信します。
3. **ON LED** は POWER スイッチを使用してデバイスが起動しているときに点灯します。
4. **POWER** スイッチはユニットのオンとオフを切り替えます。
5. **POWER SOURCE** ジャックは付属の IEC 電源ケーブルを受け入れます。

POWERPLAY P16-D はじめに

ステップ 3: はじめに

P16-D 基本セットアップ

1. P16-D が付属の IEC 電源ケーブルを使用して電源に接続されていることを確認します。(P16-D から追加の P16-HQ ミキサーをバスパワーするには、P16-D を電源に接続する必要があります。)
2. ユニットが電源がオフになっていることを確認します。ON LED は消灯しています。
3. P16-I、P16-D、または別の P16-HQ から ULTRANET IN 接続にシールドされた CAT5 ケーブルを接続します。
4. ULTRANET OUTPUTS から外部デバイス (P16-HQ または P16-D ユニットの任意の組み合わせ) へシールドされた CAT5 デジタルケーブルを接続します。最適な結果を得るために、75 m (246 フィート) を超える CAT5 ケーブルを使用しないでください。
5. POWER スイッチを押して P16-D の電源を入れます。ON LED が点灯します。
6. ULTRANET IN および ULTRANET OUT 接続の上にある LED が点灯し、CAT5 ケーブルが接続されてアクティブであることを確認します。